

The background of the slide is a light gray gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across it. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance.

利用者の事故後対応

～職員の保険知識の観点から～

利用者A様について

- 昭和32年生まれの59歳。障害種別：身体。障がいの程度は身体障がい者手帳1級・区分は3
障がい名は筋ジストロフィー(ベッカー型)
- 四肢体幹に筋力低下あり、股関節伸展、膝関節伸展、肘関節屈曲の筋力低下著明でスクワット姿勢をとることが困難。歩行はT字杖を使用し、トレンデレンブルグ歩行で左右に体幹を揺らしながら股関節を伸展位でロックして歩かれる。

筋ジストロフィーとは

・筋ジストロフィー(平成27年7月1日施行の指定難病)とは、筋繊維が破壊されていき、再生が追いつかず筋萎縮を起こしてしまい筋力低下を繰り返す遺伝性筋疾患の総称です。

事故状況・経過

- 居住棟内で自主歩行訓練中に左膝から転倒
- 診断結果：左脛骨、腓骨不全骨折(全治4週間)
- 西新潟中央病院に1カ月強入院

退院後の状況

- ・自宅に戻られ利用サービスの変更・検討を行う



- ・リハセンの利用は中止
- ・他の施設(日中一次支援)の利用回数を週2回から3回に
- ・ゆきよしクリニック訪問リハビリを週1回利用
- ・ヘルパーの利用回数を増やす

事故後の職員対応

基本的な対応ですが...



- ・所長が入院先に謝罪に伺い、本人の想いを傾聴
- ・担当職員が退院後、必要書類を届ける名目で自宅に
何度か訪問し心身面の状況を確認する

統合賠償責任保険とは

・事業活動を行う際に生じるリスクをまとめて補償する保険

～今回の事故対応についてのポイント～

被害者治療費等補償特約

施設内で利用者が転倒し負傷、法律上の賠償責任は認められないが治療費、見舞い金を保険会社の同意を得て負担することができる。この特約を施設全体で把握できておらず！！

今後について

- ・職員の幅広い分野での知識の習得
- ・現状に満足せず、まだ知らないことがあるのではと常に
考え意識し、行動する

ご清聴ありがとうございました